

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		工業用水道量水器取替え・購入事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	12	商工業の振興			所属課	上下水道課	担当者名	江口 大地
	基本事業	35	企業誘致の促進			所属班	庶務料金班	(内線)	1168
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	計量法	成果優先度評価結果
									コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	計量法で8年と定められている量水器の交換及び不具合の発生(凍結により損壊したものやガラス面の曇りで検針が困難なもの、等)した量水器を取替え、また不足する場合は購入する事業である。水道量水器は、計量法で、計量器のうち、適正な計量の実施を確保することを必要とされる特定計量器と定められており、計量法施行令第18条で有効期限が8年と定められていることに対応する量水器を設置しなければならない。現在の工業用水道利用件数は7件（契約水量62,816/日）となっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①量水器の新規設置から8年経過するものを抽出し、該当する水道使用者へ通知する。②業務委託により量水器を取り替える。③8年経過量水器を改造し使用可能にする。（業務委託）④量水器が不足する場合は購入する。
【主な予算費目】	事業費は取替え、改造にかかる委託料、通信運搬費（郵送料）及び備消耗品費に支出される。
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
有効期限満了量水器（8年経過）の取替え、不具合の発生した量水器の取替えを実施。		不具合の発生した量水器の取替えを実施。新規に契約があった場合、量水器を貸与。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 取替え対象量水器数	個	
イ 新規貸与量水器数	個	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
工業用水道量水器		→ ア 工業用水道契約件数
		イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
使用中の工業用水道給水装置に、適正な量水器を設置する。		→ ア 適正でない量水器の数
		イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
工業用水道事業は各事業者の生産活動に欠かせない「工業用水」を常に安定して供給し、料金を納入していただくことで成り立っている。よって量水器が正常に機能することが前提であるので目標値を0とした。		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標	ア	個	0	4	0	0	0	0	0	0	0		(期間限定複数年度のみ記載)
	イ	個	1	4	1	0	0	0	0	0	0		
② 対象指標	ア	件	6	6	6	0	6	7	7				
	イ												
③ 成果指標	ア	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	イ												
投資 事業 内訳	財源	国庫支出金	千円										(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円		37	75	83	84	84				
		繰入金	千円	58	694	217	211	45	45				
		一般財源	千円										
	入費	(A) 事業費計	千円	58	731	292	0	294	129	129			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	量	人件費	正規職員従事人数	人	5	4	4	0	4	1	1		
			延べ業務時間	時間	20	64	10	0	10	3	3		
		(B) 人件費計	千円	80	254	39	0	41	12	12			
トータルコスト(A)+(B)			千円	138	985	331	0	335	141	141			

事務事業名	工業用水道量水器取替え・購入事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 量水器については今のところ異常は見受けられず、問合せ等もないため
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 必要に応じて対応する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 工業用水道料金決定収納事務との統合量水器管理により、工業用水道料金が決定できるので、本事務を工業用水道料金決定収納事務と統一を図ることができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 適正に対応しており、削減により影響が出る可能性もある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限で対応しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 対象者は一部の企業であるが、セミコンテックパークの立地企業すべてに受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民、団体に移行することの出来る業務はない

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本事業は良好に実施出来ており、現段階で見直すべき点は見当たらない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								